

アゼルバイジャンでの産業人材の育成について

1. 産業界のニーズを満たす人材育成を課題としている国は多く、アゼルバイジャンも例外ではありません。アゼルバイジャンは 2021 年 3 月の経済トピックでも紹介した「2030年に向けた経済社会開発国家優先事項」でも、「近代的革新のための競争力のある人材の育成及び必要な環境整備」を国家優先事項の 1 つとして掲げ、人材育成を推進しています。
2. 2016 年 12 月、アゼルバイジャン政府は開発戦略ロードマップを策定しました。開発戦略ロードマップは分野別に策定されており、2020 年まで、2025 年まで、2025 年以降の 3 つの期間における各分野の成長目標を掲げており、「職業教育及び訓練のための戦略ロードマップ」では、民間部門の成長に向けた人材育成強化の重要性も指摘されています。さらに、金融、観光、通信、重工業を職業訓練の制度を整備する上での優先産業としており、質の高い労働力の育成を目指しています。
3. 人材育成は公的部門のみで達成できるものではなく、民間部門との連携が重要です。まず、教育省が職業訓練カリキュラムの策定や改定を行う際には、民間部門が必要とするスキルが何かを特定するために民間部門からの聞き取りなどを行っています。さらに、職業訓練校の生徒に対する企業による研修実施等についても、公的部門と民間部門との間で連携しています。
4. 具体例としては、国家職業教育庁と各自動車メーカーの正規代理店とが覚書を締結し研修を実施するなど機械工学分野における人材研修が進められています。その他にもワイン製造やホテル業等においても類似の取り組みが数多く行われております。
5. また、特定産業に特化したスキルだけでなく、コンピューターリテラシーの向上も「職業教育及び訓練のための戦略ロードマップ」の活動項目に含まれており、本ロードマップを推進する教育省はコンピューター教育専門の民間機関とも連携しています。

(以上)